

発行：NPO法人「地域人権みんなの会」

2011年4月27日

岡山市北区下伊福西町1-53 Tel&FAX 086-254-9555 <http://minnanoie.org/> 発行責任者 中島純男

## みんなの家ななくさ 開設5周年集会の準備へ

3月24日、小規模多機能型居宅介護事業所・みんなの家ななくさの2010年度総括会議がななくさスタッフのほぼ全員が参加して行われました。一年間の利用者さんの登録数などは以下の表です。

年間利用登録 20人/月 から25人/月 で推移し平均では22名を超えている。

平均登録人数 22.3人/月 平均介護度 2.30

年/月	10/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11/1月	2月	3月
ななくさ	20	18	19	20	19	20	20	22	22	23	19	20
予防	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
計	22	20	21	22	21	22	22	24	24	25	22	23

事前に、職員からアンケートをいただき、その主な内容も全員のものにするために論議されました。

- ・レクがマンネリ化しているのでもの個々のレクを考えては
- ・職員会議でも議題にあげたが改善されていない なぜ連携がとれないのか
- ・仕事はもう少し緊張感を持ってほしい
- ・利用者さんの口に入る物にもう少し心配りを トロミの付け方ひとつ丁寧さが欲しい
- ・地域の人に気軽に出入り出来る事業所作り
- ・開設5年にふさわしい理念と利用者、職員が一緒になって行う
- ・スタッフが食事を作る時に早目にメニューを決めてほしい
- ・利用者のみではなくスタッフ同士の思いやりのある現場作り
- ・1日の自分の分担をしっかりと把握をしたら良いと思う
- ・チームワークをしっかりと
- ・時間に追われているのでゆっくり関わっていきたい
- ・外出支援を増やし利用者さんにとっての思い出作り
- ・地域活動への参加



4月7日、三門公園で、ななくさの利用者さんとスタッフが花見。天気もまずまず、屋外の風は、みんなの表情を明るくさせていきます。

法人代表も参加した4月12日のななくさ会議では、開設して5周年を迎える7月に、5周年記念集會を開催することを決めました。

### 小規模多機能型居宅介護事業所

### みんなの家 ななくさ開設5周年記念集會

とき 7月3日(日)午前10時から11時30分

ところ みんなの家ななくさ (北区西崎本町1-7 電話 086-253-8988)

# かるがも健康まつり、医療生協と共催

4月17日



ふるさと、赤  
とんぼなど、  
大きな声で  
合唱しまし

スタッ  
フ  
のギター、  
魅せられ  
ました



4月17日、岡山市南区浦安本町の小規模多機能ホーム「みんなの家かるがも」で、かるがも健康まつりが開催されました。医療生協福南支部と「かるがも」友の会の共催となった今回の祭りには、約70人が参加。医療生協組合員の有志による健康おどり、太極拳を一緒になって身体を動かし、かるがもスタッフのギター伴奏に合わせみんなで合唱して楽しみました。手作りカレーや洋服のバザーなども好評で、肺年齢も取り入れた健康チェックも多くの方が参加していました。



祭りでは、ご近所や友の会の方々に大事にされてきた「かるがも」の1年間のとりくみの報告がされ、利用者さんからも「かるがも」で過ごす時間がとても楽しいと御礼をこめてのあいさつも。



健康おどり、医  
療生協福南支  
部のみなさん、  
とてもお元気  
です

利用者さ  
んからも  
一言発言



南区で住民参加による福祉の拠点にしていけたらという開設にいたる思いが、一步一步前進していることを実感させてくれた企画となりました。



# 市民の平等権と連帯を考える

## 一人権問題を考える学習集会

倉敷会場に75人が参加

NPO地域人権みんなの会主催の「人権問題を考える学習集会」が2月5日、倉敷市人権啓発補助事業として倉敷芸文館別館で開催され、75人が集いました。

障害者の生活と権利を守る県連絡協議会事務局長の吉野一正さんが「市民の平等権と連帯を考える」と題して講演。障害者の権利保障を求める運動を通じて確信としてきた人権認識をもとに、まずは、事故で片足の障害を持つにいたったことなども含めて本人の生い立ちから話しはじまりました。

歴史的に戦前の「穀つぶし」とする障害者観、戦後の「普通でない」というとらえ方、訓練や治療可能な者だけを対象とする「適応主義・能力主義」などの障害者がぶつかってきたバリアの実態に言及しました。特に適応主義は、1960年代当時の障害児施設内でもバリアを改善しない、それは社会に出ると一杯バリアがあるから訓練しておくんだ、という風潮が強かった、などと施設の寮母さんとして働いていた時の経験も含めて述懐されていきました。



願いの共有をのものと、願いを実現させるために、指導者(政治家)を選ぶ権利の行使が特に大切だと強調されました。



運動の教訓として、苦しい経験を経ながら母親たちの義務教育実現に向けて取り組んできたその要求の根源にも触れながら、一つひとつ教育を受ける権利を実現させてきた道のりを解説されていきます。そして、権利保障を求めてきた原動力を、情動の共感→権利の共感→要求の共有→運動→連帯して制度づくり、と捉える事が出来ると。最後に、障害者自立支援法違憲訴訟のたたかいを通じて、一旦引き下げられた権利を回復していったと評価し、共感と



討論・意見交流には4人が発言。障害を持ちながら企業で働く嘱託職員は、企業の処遇に切実な悩みを吐露、地域の人々の障害に対する理解が一番必要だと訴えました。障害児親の会の代表の方は、障害者の表記について、障がい、障碍、というながらも、障害は社会によってもたらされたものであり、本人が障害を生み出しているのではない、その理解が大切だ、と発言。初めてこういう集会に参加された方、吉野先生の教え子にあたる障害者運動のリーダーなどからも、それぞれ発言が続きました。集会は「一緒に考えてみませんか」と呼びかけた内容に相応しいものにみんなでしてくれました。

終えて、吉野先生の古希を祝う記念写真会。この看板は医労連がカンパしてくれました。教え子のみなさん方からも花束などが届きました。

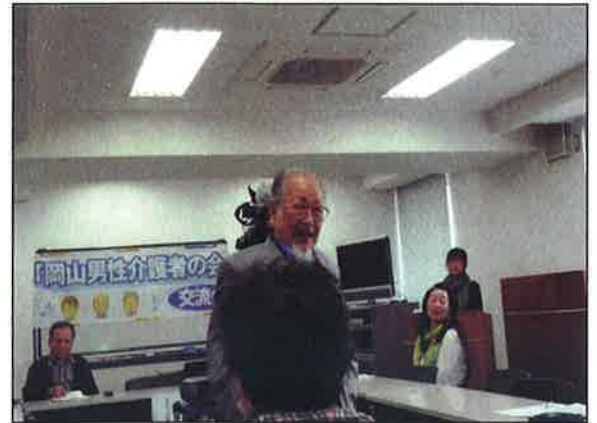
この集会の吉野先生の講演内容を、全国人権連が発行する月刊誌「地域と人権」6月号に、全文が掲載されます。ご期待ください。

## ニュース短信

なんでも話してみようと企画されました

# 岡山男性介護者の会 交流集会

4月24日、岡山きらめきプラザで、岡山男性介護者の会の第2回交流会が開かれ、中島も参加しました。この会は、全国で100万人いるとされる男性介護者の支援と交流をふかめ、孤立化を防ぐのが目的で、岡山でも1年前に設立されました。会長の江川敏雄さんに、講師の津止正敏・立命館教授を紹介いただきごあいさつ。全国ヘルパー連絡会の役員をされていた三輪道子さんのおとなりに座らせてもらって懇談したりして開会を待ちます。交流会は、顧問の貞光さんが、グチでも気軽に言える会を、と主催者あいさつ。ひろえまさみさんの笑いヨガ、というものを初体験。作り笑いでも脳は反応していく、そしてその効能は、ストレス解消、コミュニケーション力の向上、自分への自信になる、と手ほどきをしてくれました。指導する本人、確かに自信に充ち溢れているような笑顔です。



津止教授が、全国で男性介護者のとりくみが始まっていることを紹介。南田洋子さんを介護した長門裕之さんが体験を発表されたことも含めて。つづいて参加者からの意見交流。つれあいを介護されている92歳の男性は、なまみの男性介護の話を知りたいと。倉敷から参加の男性、母親への自分の介護、間違っていないかなどと苦しんできたこと、母親の介護で辞職をされた方は、これまでは福祉の仕事のなかで癒されてきたが辞職した以降相談する相手がない、などと。三輪さんは、男性は仕事を辞めると社会的なつながりがプツンと切れてしまう場合が多い、社会的経験を地域で活かす、そのためにも例えば料理教室など日常生活を支援できる組織やとりくみが必要ではないか、と提起してくれました。

現在でも介護する人の内1/3は男性。女性ほどには地域社会に溶け込めない男性、心の通う支援と居場所が求められていると、実感させられました。

## お知らせ

### 1、NPO法人 地域人権みんなの会・2011年度総会

とき 6月11日(土) 午前10時から12時まで  
ところ 岡山県民主会館 2階 A・B会議室  
・会員のみなさんへ改めてご案内します

### 2、NPO法人 地域人権みんなの会・2010年度第3回理事会

とき 5月24日(火) 午後6時  
ところ 岡山県民主会館 2階 A会議室  
・理事のみなさん、事業所管理者などへご案内します

### 3、NPO法人 おかやま人権研究センター・2011年度総会

とき 5月21日(土) 午後2時開会  
ところ 岡山県民主会館  
特別記念講演 「命の問題を考え続けて」 崎本敏子さん(前岡山市議員)  
・どなたもご参加いただけます(参加費無料)